

美摩病院広報誌

せいほう

2008年 夏号
7月 発行

苦しくない内視鏡検査を目指して



当院では、2008年4月より毎週火曜日に美摩武臣先生による内視鏡検査を行うこととなりました。

また、患者様への苦痛が少ない鼻からの検査もする事ができます。

(美摩武臣先生より)

みなさんは、胃や腸でお悩みは、ありませんか？おなかが痛い、胃が痛いなどといった症状は日常でもよくみられる事がありますよね？なかには便に血がまじるけど、元々痔があるからなどと、いった経験は、ありませんか？こんな時、胃はどうなっているの？腸の中はどうなっているの？と思った事はありますか？

現在、昨年あたりより女性のガンの死亡原因がついに一位となってしまいました。それ故都会では、今現在定期健診で胃・大腸のカメラを行う事が当たり前の様になっています。

でも、胃カメラは、苦しい大腸カメラは・・・と思う事もおありだと思います。当院では、そういったお悩みに対して、苦しくない内視鏡検査を目指しております。実際、大腸では胃よりも楽で早く終わったといった御意見が数多く寄せられています。大腸・胃で少しでもお悩みがあれば、ぜひ一度ご相談下さい、あなたの力になります。



MIMA

医療法人 青鳳会 美摩病院

日本医療機能評価機構認定病院

徳島県吉野川市鴨島町上下島 497

TEL 0883-24-2957 FAX0883-24-0724

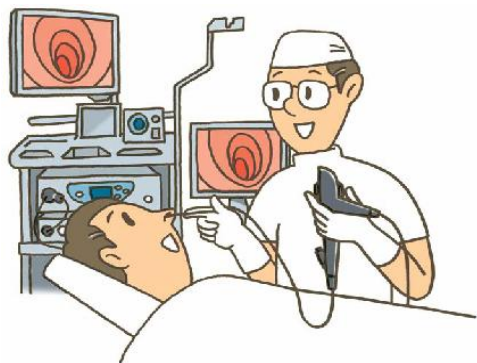
内科・外科・整形外科・リウマチ科・脳神経外科

リハビリテーション科・放射線科



日本医療機能評価機構

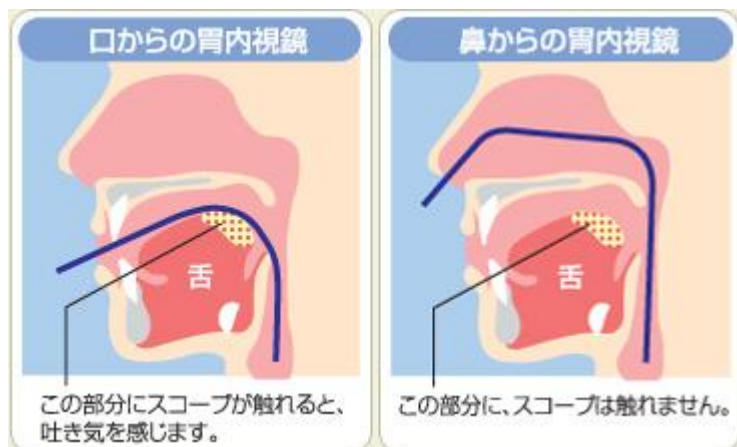
鼻からの内視鏡



鼻からの内視鏡は

- 1、吐き気が少ない
- 2、検査中に話ができる
- 3、体にやさしい
- 4、すぐに仕事や家庭に戻る

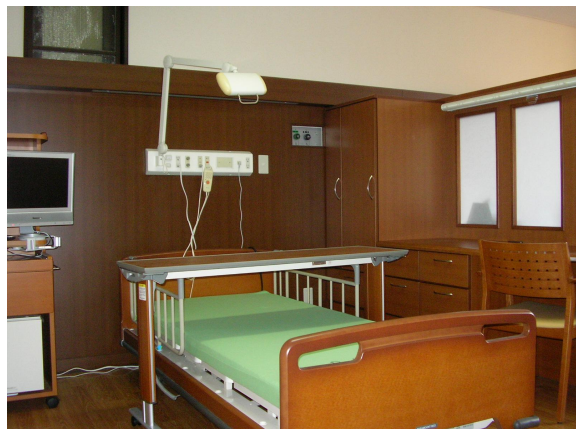
風邪をひいたときの診察で、舌の奥をへらみたいなもので押されて「オエッ」となりそうな経験をしたことがあると思います。これを咽頭反射(いんとうはんしゃ)といいます。これを口から内視鏡を入れる場合は、多少なりともこうした咽頭反射が起こります。ところが、鼻から入れる場合は舌の根元に触れないので、ほとんど吐き気をもよおすことなく検査することができます。



鼻からの内視鏡検査の場合、鼻腔(びくう)への局部麻酔を行います。麻酔から覚めるのも早く、ほどなく日常生活へ復帰できます。通常の口からの場合、1～2時間は食事ができませんが、鼻からの検査の場合は検査終了後30分～60分で、水を飲んだり食事をすることができます。

また内視鏡検査と併せて胃ろう造設、カテーテル交換も行っています。内視鏡検査、胃ろう造設共に、毎週火曜日担当美摩Drが行っています。

新病室 紹介



2007年11月より4Fの一般病棟の11号室、2008年4月より2Fの2号室、13号室がリニューアルされました。

ユニット型の個室に生まれ変わり、液晶テレビが装備（テレビカード不要）され、より落ち着いて治療、療養が受けられる環境となりました。

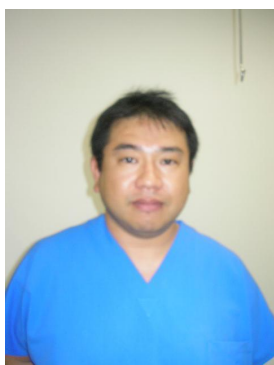
1日の個室料 411, 213号 2100円
202号 3500円

Dr 紹介



岸 宏則先生の紹介

得意分野は外傷全般で、バイクに乗るのが趣味です。誰か一緒にツーリングに行きましょう。



美摩 武臣先生の紹介

この度、4月より東京池袋の平塚胃腸病院附属池袋藤久ビルクリニックより、こちらへ入職する事となりました。

胃・大腸についてお悩みがあれば、苦しくない内視鏡を目指して行きたいと思っております。どうかよろしくお願い致します。

ひな祭り

3月15日に美摩病院3F介護療養型病棟ホールにて、今年もひな祭りが開催されました。入院患者様、スタッフが一緒になってダンスを踊ったり、歌を合唱したりし、賑わしい行事となりました。楽しい時間をすごして頂けた事と思います。



リウマチ教室



当院では、2週間に1度1F相談室にて新規のリウマチ科の患者様を対象にリウマチ教室を行っています。医師、看護師、放射線技師、検査技師、栄養士、薬剤師、PT、OT、MSW等により、リウマチの基礎知識を知りよりよい生活を送っていただくための勉強会を開いています。